



しおかぜ



地域社会少林寺拳法指導者研修会

9月30日(土)から10月1日(日)の2日間に亘り「地域社会少林寺拳法指導者研修会」が、宮城県武道館で開催されます。

当初、中学校武道必修化に特化した内容としておりましたが、特化型ではなく通常の指導者研修会となりました。

ただし、中学校武道授業に関係する一般の中学校教員も受講の対象とし、同日に別枠で研修を行いますので、お知り合いの学校の先生が居られましたらお声掛けをお願いします。



2023.06.20 千葉県の拳士が来院

道院内一般拳士については、是非参加いただきますようお願いいたします。申し込みにつきましては道院長に申し出下さい。

武階法階の対象講習となりますが、2日間とも参加した場合にのみ特典が付与されますのでご注意ください。

大澤隆管長 縁起

夏の過ごし方と平和への思い

8月に入りました。

今年も大変厳しい暑さが予想されます。子どもたちにとっては、思い出に残るたくさん楽しみがあるとともに、宿題もたくさんやらなければならないのは、昔も今も変わらないのではないかと思います。遊ぶことを優先すれば宿題はいつまで経っても終わりませんし、宿題に時間をかければ遊ぶ時間が削られてしまいます。

厳しい暑さを理由に、目の前のやるべきことから逃げたくなるのも人間です。しかし、どれだけ大変なことも、自分が好きなこと、自分の好きな人のためならば頑張れるのも人間です。最初は気が乗らなかつたとしても、そこに楽しさや価値を見出すことができれば、誰に言われなくても一生懸命に取り組むことができます。困難な状況に遭遇した時、その状況を嘆くのではなく、どうやったら目の前の状況を楽しめるか、どう



2023.04.08 塩竈道院 土曜日の修練修練で

やったら身の周りの人たちを喜ばせることができるかを考えて行動に移すことで、自らの力で現状を変えることができます。それが自己確立、自他共楽の生き方です。また、8月は終戦記念日があります。「二度と戦争を起こしてはならない」という開祖の思いから少林寺拳法は始まっています。

今後の予定

- ◎ 8月12日(土) ~ 17日(木) お盆休み
- ◎ 8月19日(土) ~ 26日(土) 塩竈道院のみ塩竈市議会議員選挙により修練休み
- ◎ 9月30日(土) ~ 10月1日(日) 地域社会少林寺拳法指導者研修会(宮城県武道館)

21世紀になって20年経った今も、残念ながら戦争はなくなっていない。私たち日本人の多くは戦争を直接、体験してはいませんが、私たちの今いる社会も、今あるこの命も多くの犠牲の上に成り立っていることを忘れてはなりません。戦時中は多くの命が無慈悲に奪われました。「もっと生きたかった」「平和な世の中を見たかった」という願いに対し、私たちはその後の世界を生きる者として相応しい生き方ができているでしょう



2023.04.10 仙台杜都道院での修練で

か。

開祖は、すべては「人の質にある」と説かれました。信条にある「世界の平和と福祉に貢献する」ために、私たち一人一人が、人としての質を高め、拳技としての少林寺拳法で終わるのではなく、世の中の役に立つ人となり、社会を良くしていく原動力となれるよう取り組んでいきましょう。

夏本番、厳しい暑さが続きますが、熱中症には十分に気を付けながら、今月も金剛禅運動に邁進していきましょう。

中国古典 紹介

「智はな^ちお水のごとし、流れざるときは^{すなわ}ち腐る」を掲載

『宋名臣言行録』

水はたえず流れていないと腐ってしまい、飲み水としては使えなくなる。「智」もそれと同じように、たえず使っていないと、サビついて使いものにならなくなるのだという。「智」とは、この場合、頭と言った方がわかりやすいかもしれない。

張詠^{ちやうえい}という宋代の名臣が、部下に対して言いきかせたことばだという。かれは、こ^そうも語っている。

「大小の事、皆すべからく知を用うべし。」

凡^{ほんびやく}百、用いずんば、大事の際に臨みて、い^いずくんぞ智の来るあらんや」
ふだんから頭を使っていないと、いざというとき名案など浮かんでこないというのだ。われわれはよく、事が終わってから、ああすればよかった、こう言えばよかったと後悔することがある。これを「愚者の後知恵^{ぐしや あとちえ}」という。どんなに名案が浮かんだところで後知恵では仕方がない。それと言うのも、ふだんから頭を鍛えておかなかった報いである。



2023.06.10 塩竈道院 土曜日の修練で